

かつての函館本線「長万部～札幌間」は道南と道央(札幌)を結ぶ幹線で 特急列車も走っていました 今は幹線の座を室蘭線に譲り「本線」とは名ばかりの普通列車だけのローカル線になってしまいました 「霧の函館本線」というのはまるで演歌の題名ようですが 実際に「山線」とも呼ばれる函館本線はよく霧にまかれます こんな路線には2両編成の気動車がよく似合います



これが完成した絵です



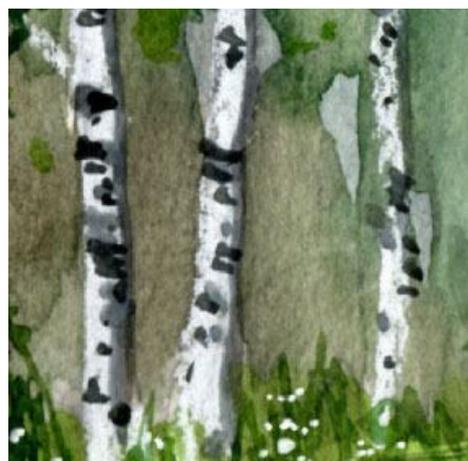
1、列車の前面は「車輛の顔」です 窓は思い切り暗く描いたほうがそれらしく見えます



2、霧の風景に「影」はあまり必要ありません しかし立体感を出すために 車両の側面には薄く影をつけておきます



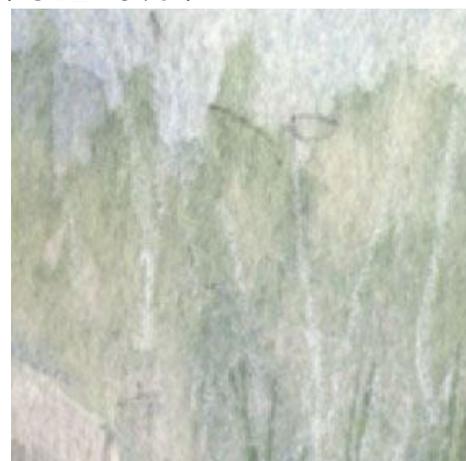
3、霧の風景では 奥にいくほど白っぽくなります この構図ではその様子を 車両で表現することになります



4、線路横の白樺は「北海道らしさ」を表現する 良い題材です 白のソフトパステルが必要です



5、白い花は「修正ペン」で描きました 修正ペンはいろいろな表現に役立ちます



6、奥の森も 白く煙ったように彩度を抑えて描きます